

# 鏑木清方と鱒崎英朋

Kaburaki Kiyokata and Hirezaki Eiho  
- Illustrations bringing color to modern literature

2020年2月15日(土) - 3月22日(日)



近代文学を彩る口絵 一朝日智雄コレクション

太田記念美術館  
ŌTA MEMORIAL MUSEUM OF ART

開館時間 10:30-17:30(入館17:00まで) 休館日 月曜日(2/24は開館)、2/25  
<http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/> twitter @ukiyoeota

# 近代文学を華やかに彩る、超絶技巧の木版口絵

明治20年代後半から大正初期にかけて、小説の単行本や文芸雑誌の巻頭には、木版による口絵が付されました。物語の世界を華やかに彩る木版口絵は、江戸時代から続く浮世絵版画の系譜に連なるだけでなく、江戸の技術を遙かに上回る精緻な彫りや摺りが施されています。しかしながら、現在の浮世絵研究ではほとんど顧みられることがなく、忘れられたジャンルとなっていました。

この口絵のジャンルで活躍した主な絵師たちが、武内桂舟、富岡永洗、水野年方、梶田半古、そして、その次の世代にあたる鏑木清方と鏑崎英朋です。本展では、木版口絵のコレクターである朝日智雄氏の所蔵品の中から約110点を厳選し、清方と英朋の作品を筆頭に、歴史に埋もれた木版口絵の美の世界をご紹介します。



©Akio Nemoto

1



2



©Akio Nemoto



3



©Akio Nemoto

5



6



7

表紙 鏑崎英朋 柳川春葉・著『誓 前編』口絵 ① 鏑木清方 菊池幽芳・著『百合子 後編』口絵 ② 鏑崎英朋 泉鏡花・著『続風流線』口絵 ③ 鏑木清方 小杉天外・著『にせ紫 後編』口絵 ④ 鏑崎英朋 泉斜汀・著『深川染 前編』口絵 ⑤ 鏑木清方 菊池幽芳・著『小ゆき 後編』口絵 ⑥ 鏑崎英朋 柳川春葉・著『誓 中編』口絵 ⑦ 梶田半古 『菊のかをり』（『文芸倶楽部』第11巻第13号口絵）

## 連携企画展

### もうひとつの歌川派？!

#### 国芳・芳年・年英・英朋・朋世～浮世絵から挿絵へ……歌川派を継承した誇り高き絵師たち

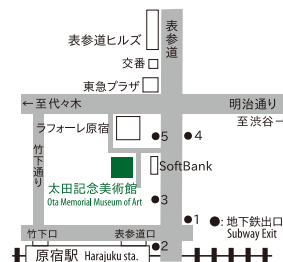
会場 弥生美術館（東京都文京区弥生2-4-3）

会期 2020年1月7日（火）～3月29日（日）

<http://www.yayoi-yumeji-museum.jp/>

問合せ 03-3812-0012

本展の半券を弥生美術館にてご提示いただくと上記展示会を100円割引でご覧いただけます。また、上記展示会の半券を当館でご提示いただくと、本展を100円割引でご覧いただけます。半券1枚につき1名様1回限り有効。他割引との併用不可。



**太田記念美術館**  
ŌTA MEMORIAL MUSEUM OF ART

入館料 一般 1000円 大高生 700円 中学生以下無料

アクセス 東京都渋谷区神宮前1-10-10

明治神宮前駅(5番出口)より徒歩3分

問合せ 03-5777-8600(ハローダイヤル)

公式サイト <http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/> 公式twitter @ukiyoeota

JR山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分 東京メトロ千代田線・副都心線